

は

學

竹坡云

畫堂春

曉の建設
(三)

牧場の隆吉の家、木造の物置から俵を運出してを兵士達、石礮に向ふ側で馬の嘶き、喧嘩、銃動のキヤキヤ。下馬連口惜しうに見送る中馬と腕を組んで立つ隆吉、兵士の一人馬を引いて行かんとする連りを止めんとする老翁を倒され、馳走つて

公島徳衛

ある。若い農婦、子を産うた女、飢にやつれた中年の農夫等、困頓と絶望の中にあつてもまだ目に見えぬ希望に似た光が眼の中ひらめいてゐる。その希望とは「隆吉青年の吐く一言一句の中」にある。

「こんな惨めな生活、こんな明日に無い命、その中本迄、奴等は今はずつて行つちやがた。」

青年達、農夫、農婦の呼び聲折起る。書面効果の上よりはカタルバツタにて虚ろな目を以てモタルと何かを責り責ふ農夫のアツアツに青年の聲をWらせ、子に乳をやりつつと話を聞かぬ農婦に同じくWらせ、最後

に青年のふ(ハ、S)に

娼婦像

「白雲の大崩れ、自然の
の陣破だ」(〇、エ)
(〇、エ)夜に成つてゐる。
軍機地方部隊屯兵所、土官
二名、兵十名、車馬と酒宴
をしてゐる。眞中の鍋から
湯気が上つてゐる。雄談と
笑聲が遠々たる煙りの中に
愉快な氣が。馬の蹄の音が聞
えて来る。一圓耳を立てる
蹄の音が外で止つて兵士が
轉り込んで来る。騒ぎ。
「隊長、將軍廟附近の大刀
君は、笑しき、
けだかく、聖き、娼婦なり」
君の秀れたる、
黒色の髪、艶々しき顔、
細やかき肩、ふくよかな乳頭と、
豊かなる背、理想の靈體は、
嚴かなる男布を通して輝きたり、
思ふままに、悪魔體の、
官能はいらだちて耐へ難く、
熱情の極み、女を抱きたり」

真き、火焰燃えさかり、

考（臺灣西北地方の部落名を附せられたし）
土「ア……、今頃○○○に行つたつて何が残つてゐるんだ、もる奴等からは誰も出なだらう」と土官は腹を股して来た品々を見廻す。
兵「ですが、○○○に何も無ければ奴等（○○○の部落名）を襲ふに定つてゐますすればこゝは道筋ですから……」土官一寸あわて氣味で、

註。詩人ダイヨンの猛惡像
「美しき胃造師の女」より

立上る兵士達の中で士官はあつた。其の型をとり乍ら「全く奴等の襲撃と来た日によ、はやてより早いんだからな」

13 豪々たる身振りを上げて馳ける馬鹿の一團、野趣え山越へ、月光に黒き一團亦一團。

16 牧場の監牢年の家、土間に續いた作事部屋の様な處に村の青年達十數名集つて

にいつまり俺達は我慢してゐられるんだ。(この前の牧場の時俺達は奴等に根こき奪はれた)農夫達の聲一さうだ根こきぞ。(農夫達の聲に聞かないや)同一の聲に聞く同一「娘も一同かゝあもだ」

一年一度だ。俺達はこの半年、寒い冬に開いて食ふものも食はずに備ひ。俺達によ奴等による阿いつ餘計で台詞を終らせ、最後の男夫に手をゆき、虚ろな女に一條の光を拂ひ替へて、若畜生、軍閥の奴等が、その台詞にてケラツキと眞を呼び上げる群衆にカヤツキをするのもこれはコソツキに於ける監督のアナニツツの頭分にてシノリオ執筆者といふは結構であらうかも知れません。書き進める事に勵ぎ立てる農夫達子供て

泣聲、手で制する
17 暗夜の中を眞黒に
進む軍城也。

此處には東京に住んでゐる半屋敷のことが書いてあるいろいろな生活と困窮してゐる面影のために種々力を用ひてやると云つてしまふ。聞かぬ人々の知合ひがあつて水廻れのない、しかも人の持つてゐる一掃を好むところ方は拒絶しても一人の貧乏な娘と一緒に染たる氣持で暮らしてゐるのである。

讀む方でも氣樂に讀めば會話的な妙作しやれたといふ部分がある。面白い。このせきやなりとしたものゝ小説も長いものであらう。この作家が圓熟したことを示してゐるであらう。劇材の面白さが作家の胸によつて生きていると言へるのである。

(御園福士)

18家の中へ、隆青年、省の前
地獄を焚いて呼んでゐる
俺達を驚かす。嫌まる。
俺達に逢はない、こののろ
の間をうちして俺達は生
て行くんだ(駄目だ、駄
目の悪いや駄目だよ、駄
目なんだ、たつた一つ迄か
の(何だ、どうするんだ
の)アッだ。ソビエツク
の。俺達を皆んな潰つ
たら、俺達を皆んな潰つ

19 一師團の足より早く」
匪國の先頭村に侵入する

粥 渣 (九)

歐陽 山 作
川 内 堯 譯

洗ひざらひてゐた私に
二圓貸してくれませんか？
私には元手がありません。何
にしろうちの女房が御覽の通
訓が纏てゐた。その中には
無知なるものもあつた。不合理的
のものもあつた。そして非常に可
笑なかつた。しかし説ふその

かつた、口を開いて彼を眺め
た。何か反駁出来る點を探さ
うとした。彼は物に對しては
甚だよく知つてゐた。私がま
だ結構してゐないことを知つ
てゐた。それに彼は讀み多だ
といふ点でもある。そして彼
は何の其の意見を借ひはしな
かつた。

人にあつては、斯うした
人に向つて見せびらか
だけがわづかに幸福であ

には自分の拳で自分の額を打
うとした。彼より見たる顔
は落ち込んでゐて、見られ
たまゝでなかつた。それを見
れば誰も同情せずには居れな
かつたであらう。

「若し女房があつたその言
ひを聞かぬやうに、

秋の透明な雲は藍色で勇
敢、純潔な海面に映てゐた。
一つの大きな人を眩惑させ
た光が私たちを眩惑させず
ゐた。それから彼は私に働
の冗長な理辯を語を吐いた。
大分はその女房に關するも
のだ。彼がいかに時にい
かなら女房を買つたか、それ
から又その僞で別のものな

▲大陰移民（十月號）
自由民の活躍の中心として
て特筆される。編輯者、
の喜劇が多い。（新嘉坡馬
二〇〇、大陰移民社、二十
號）

▲實業之世界（十月號）
長期戦役の買と、陸軍
の原稿が集められてある。

附刊部附録
（續）

公
德
川(元)
武號
町樂永

案がやつてゐたら、あいつは
 あんなにやまましと私と言ひ
 ますはしないです。そし
 たら、
 達用御 器
 修販製 具道
 理賣 社
 武又 店具造
 社 會式株造販具
 番七二二二(3) 延 六の一

を貰ふたかといふことである
 彼の顔には稍可愛らしい血色
 が浮びつた、黄緑がやうな
 顔の膚が熱い火で焼れて
 ゐた。そのため乾燥して捲れ
 て來た。だつた。

打出し
 負けたとて派手な相撲は賺取ちや
 數圓の客を木戸へ押出す。
 秋 葉
 來い」と叩く。尾花に女服花何を
 刃穿露指です。

東京市芝區芝公園五號地
 東京一世界社、四十號
 △組元一千六百年(十號)
 川端新、北支那館、その
 他、(京市)町町元代目
 町、元一千六百年某、
 十號

て銀一丈だつてゆるがせには
しないでせうよ、あいつはば
かだから、賭博をするとは思
ひだつたら多少世間の

はんです。三たが、もう外のはんです。私達は時にこのやうなことを語た。

「誰があなたに對して好意を持てゐないことがあつても、でも、そんなことが空れてしまふです。よ、その方がいいです。」

彼が醫物を貯蔵庫へ来るのと同時に、すべて世故の教

を授けられたが、多分、それと判るわがでせう。……弟のは、開闢と書ひまゐつて、そのの間、を一つあゝした。その主人に對て北平へ行つてしまひました。私は、あつたかどうして主人と一緒にあつたかが判つてゐました。しゝみ私達は隣りなんて事は聞かしてしまへた。その事に間に合はしてしまつたのです。そして私はあいつを待ちました。

（農業資料 九月號）

金澤北門「廣谷公政に對するの倫理性」文與保（九月號）

近衛男「滿洲移民の内地の農業」その農業者の生活（大市羽衣、満洲事情）

農業學傳中央會三十五號

丸 命 救 字 津

カナツリ アシノ
ネ ヌコヨ 小川ヘ
ツニ バイツツタ
カナヤヘジメヨウ

瀉^{しゃ}瀉^{しゃ}ど
 健^{すこ}やかに——胃腸も壊^{こわ}さず
 夏負けもせず 元氣で育つ
 兒なら お尋^{たず}ね下さい。キ
 ャット救命丸^{きうめいがん}育ちとお母様^{おははさま}が
 自慢^{じまん}でお答へになるでせう

梅雨時から眞夏にかけては
お子様の身体に最も異常の
起り易い時です。お子様の
健康上の些しの變調にもお
母様は常に敏感であらねば
なりません。

この季節に起り易い消化不
良の替便、下痢、腹痛、ヒ
キツケ等には、古來から保
育藥として定評のある健和

漢藥字津御命丸が最も
く奏効します。

金色小粒の服み易い小
て、些しの副作用もな
れたばかりの乳幼児に
心してお興へになれ
る獨特の溫厚な効目を
して、色々なお子様の
を快方に向はせるので
です。

店商置玉 社合式株 町瓦區東阪大・區橋本日京東 店理代總 (M) 國 旗 りあに店貨百店薬・花圖拾りよ錢卅・錢卅(價廉)

店本行銀業興兩情 行銀引取
 行銀金正 價換
 前劇豊路樂豊京新
 四七四二番(2)番
 番〇二五五

店商郎三利標高

武株貴公
 買賣物現

實堅對絶
 資投券證式株
 介仲の融金

國都醫院案内 本欄一手取扱 満洲國通信社

三井眼科
耳鼻咽喉科専門
東京電 三井 忠
醫學博士 三井 忠
電話 四八八五番

康徳醫院
花柳病 淋病 梅毒 皮膚科
女醫 田島 幸子
電話 三三九七番

胃腸醫院
婦人科 小兒科
女醫 田島 幸子
電話 二六〇七番

煙草醫院
性病 淋病 梅毒 皮膚科
主 田島 幸子
電話 三三九七番

齒科
佐野齒科醫院
佐野 幸一
日本橋海町 東京
電話 三三九七番

興安病院
外科 小兒科 性病科
東京電 興安 院
電話 五九二一番

森醫院
内科 小兒科
東京電 森 院
電話 三三九七番

順天醫院
内科 小兒科
東京電 順天 院
電話 三三九七番

緑醫院
小兒科
東京電 緑 院
電話 三三九七番

太田醫院
小兒科専門
東京電 太田 院
電話 三三九七番

小兒科
東京電 小兒 科
電話 三三九七番

中野醫院
小兒科専門
東京電 中野 院
電話 三三九七番

齒科
林 齒科醫院
林 久仁恵
電話 三三九七番

肥後醫院
小兒科 性病科
東京電 肥後 院
電話 三三九七番

鈴木病院
小兒科 性病科
東京電 鈴木 院
電話 三三九七番

大森醫院
一般外科
東京電 大森 院
電話 三三九七番

津田醫院
産婦人科 性病科
東京電 津田 院
電話 三三九七番

小兒科
長春醫院
東京電 小兒 科
電話 三三九七番

岡田醫院
性病科
東京電 岡田 院
電話 三三九七番

植田醫院
小兒科 性病科
東京電 植田 院
電話 三三九七番

深町醫院
皮膚科 性病科
東京電 深町 院
電話 三三九七番

津田醫院
皮膚科 性病科
東京電 津田 院
電話 三三九七番

齒科
早川醫院
東京電 齒科
電話 三三九七番

外科性病
東京電 外科性病
電話 三三九七番

三谷醫院
小兒科 性病科
東京電 三谷 院
電話 三三九七番

豐榮堂醫院
花柳病 性病科
東京電 豐榮堂 院
電話 三三九七番

吉野醫院
性病科
東京電 吉野 院
電話 三三九七番

知識眼科
眼科専門
東京電 知識眼科
電話 三三九七番

梵慶
性病科
東京電 梵慶
電話 三三九七番

松本醫院
小兒科 性病科
東京電 松本 院
電話 三三九七番

中市醫院
花柳病 性病科
東京電 中市 院
電話 三三九七番

山崎齒科
中央齒科會館
東京電 山崎 院
電話 三三九七番

同仁醫院
皮膚科 性病科
東京電 同仁 院
電話 三三九七番

折島醫院
性病科
東京電 折島 院
電話 三三九七番

善徳醫院
小兒科 性病科
東京電 善徳 院
電話 三三九七番

おたけ
淋病 胃腸病 肝門病
婦人病 蓄膿症 皮膚病
東京電 おたけ
電話 三三九七番

中山醫院
眼科
東京電 中山 院
電話 三三九七番

新豊及豊表替の御用は
藤尾 豊店
東京電 新豊及豊表替の御用は
電話 三三九七番

浅井小児科
技術優秀 タケヤ靴店
東京電 浅井小児科
電話 三三九七番

龜岡豊店
技術自慢の店
東京電 龜岡豊店
電話 三三九七番

割烹 藪虎
牛鳥すきやき
鍋ものいり
東京電 割烹 藪虎
電話 三三九七番

森永ラッドミルク

おたけ
淋病 胃腸病 肝門病
婦人病 蓄膿症 皮膚病
東京電 おたけ
電話 三三九七番

杏林堂醫院
小兒科 性病科
東京電 杏林堂 院
電話 三三九七番

専門 走精華眼鏡店
眼鏡 鏡
東京電 専門 走精華眼鏡店
電話 三三九七番

豊の御用は
鵜殿兄弟商店
東京電 豊の御用は
電話 三三九七番

寶白醬油
丸辰醬油會社
東京電 寶白醬油
電話 三三九七番

丸辰醬油會社
丸辰醬油
東京電 丸辰醬油會社
電話 三三九七番

相
東京電 相
電話 三三九七番

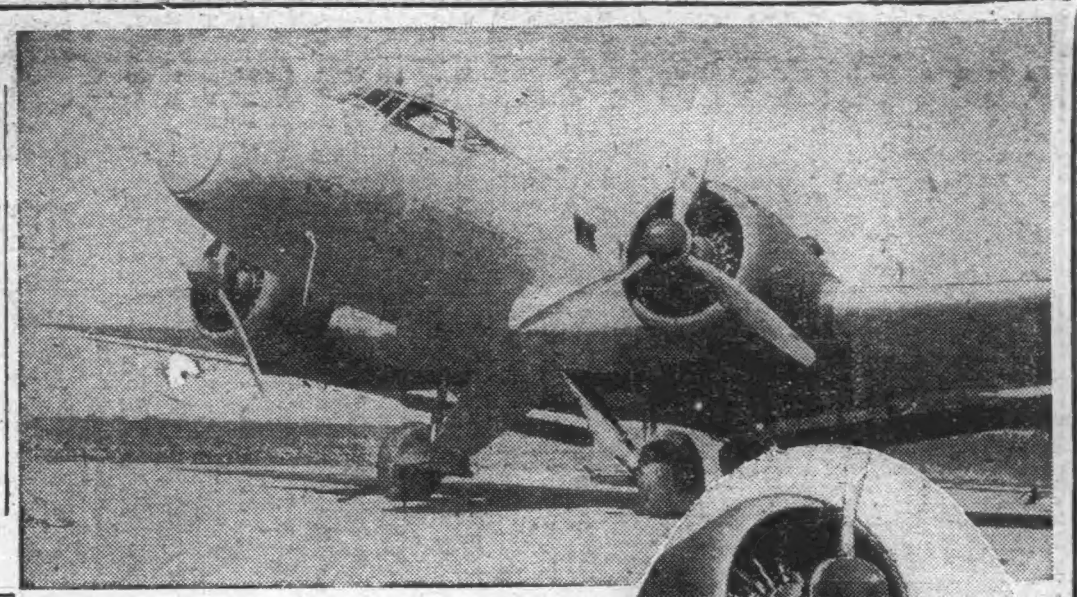
引越荷物
荷造運送
東京電 引越荷物
電話 三三九七番

米
新立中 電話 三三九七番

大谷鑛業社
鑛業 鑛
東京電 大谷鑛業社
電話 三三九七番

カネタ製麵工場
麵 麵
東京電 カネタ製麵工場
電話 三三九七番

上生菓子
洋酒類
東京電 上生菓子
電話 三三九七番



空の旅に最新鋭機

ユンカー 八型登場

きのふ就航を前に試験飛行 素晴らしい性能發揮

【本報東京二十日電】ユンカー八型は、東京から大阪までの航路に、きのふ（二十日）より正式に就航する。この新鋭機は、ユンカー社が最近完成させたもので、性能が非常に優れている。試験飛行の結果、素晴らしい性能を発揮した。この機は、東京から大阪までの航路に、きのふ（二十日）より正式に就航する。この新鋭機は、ユンカー社が最近完成させたもので、性能が非常に優れている。試験飛行の結果、素晴らしい性能を発揮した。

貧困者に救済の手

無料診療班

【本報東京二十日電】貧困者に救済の手を差し伸べるため、無料診療班が組織された。この診療班は、貧困者に無料で診療を提供する。この診療班は、貧困者に無料で診療を提供する。この診療班は、貧困者に無料で診療を提供する。

協和會満系職員

友邦日本を視察

全滿選抜 十五日出發

【本報東京二十日電】協和會満系職員は、友邦日本を視察するため、全滿選抜を十五日に出發した。この視察団は、協和會満系職員から選抜されたもので、友邦日本を視察するため、全滿選抜を十五日に出發した。この視察団は、協和會満系職員から選抜されたもので、友邦日本を視察するため、全滿選抜を十五日に出發した。

京城 新空路を飛んで

商業的利用価値を將來性



【本報東京二十日電】京城（平壤）と大連を結ぶ新空路が、商業的利用価値を將來性として注目されている。この新空路は、京城（平壤）と大連を結ぶもので、商業的利用価値を將來性として注目されている。この新空路は、京城（平壤）と大連を結ぶもので、商業的利用価値を將來性として注目されている。

盗まれて御存知ない

生フ井ルム（二萬呎）

井上自白に満映吃驚

【本報東京二十日電】生フ井ルム（二萬呎）の盗まれたことが、井上自白に満映吃驚した。この盗まれたことは、井上自白に満映吃驚した。この盗まれたことは、井上自白に満映吃驚した。

赤十字社の

記念スタンプ

地方銀行視察團

【本報東京二十日電】赤十字社の記念スタンプが、地方銀行視察團に配布された。この記念スタンプは、赤十字社の記念スタンプで、地方銀行視察團に配布された。この記念スタンプは、赤十字社の記念スタンプで、地方銀行視察團に配布された。

太公望と喜べ

浄月潭全部開放

浄月潭全部開放

【本報東京二十日電】太公望と喜べ、浄月潭全部開放された。この浄月潭は、太公望と喜べ、浄月潭全部開放された。この浄月潭は、太公望と喜べ、浄月潭全部開放された。

故大河平君追悼

野球試合

野球試合

【本報東京二十日電】故大河平君追悼の野球試合が行われた。この野球試合は、故大河平君追悼の野球試合で、行われた。この野球試合は、故大河平君追悼の野球試合で、行われた。

狂犬後防注射と

野犬狩り実施

野犬狩り実施

【本報東京二十日電】狂犬後防注射と、野犬狩り実施された。この野犬狩りは、狂犬後防注射と、野犬狩り実施された。この野犬狩りは、狂犬後防注射と、野犬狩り実施された。

株金拂込通知公告

株金拂込通知公告

株金拂込通知公告

【本報東京二十日電】株金拂込通知公告が、株主に対して行われた。この株金拂込通知公告は、株主に対して行われた。この株金拂込通知公告は、株主に対して行われた。

株金拂込通知公告

株金拂込通知公告

株金拂込通知公告

【本報東京二十日電】株金拂込通知公告が、株主に対して行われた。この株金拂込通知公告は、株主に対して行われた。この株金拂込通知公告は、株主に対して行われた。

開店一周年記念

粗品進呈十二日より十六日まで

粗品進呈十二日より十六日まで

【本報東京二十日電】開店一周年記念の粗品進呈が、十二日より十六日まで行われた。この粗品進呈は、開店一周年記念の粗品進呈で、十二日より十六日まで行われた。この粗品進呈は、開店一周年記念の粗品進呈で、十二日より十六日まで行われた。

季節御料理

割烹

割烹

【本報東京二十日電】季節御料理の割烹が、提供された。この割烹は、季節御料理の割烹で、提供された。この割烹は、季節御料理の割烹で、提供された。

外務社員招聘

外務社員招聘

外務社員招聘

【本報東京二十日電】外務社員招聘の公告が、行われた。この外務社員招聘の公告は、行われた。この外務社員招聘の公告は、行われた。

第一生命新東京支部

第一生命新東京支部

第一生命新東京支部

【本報東京二十日電】第一生命新東京支部が、設立された。この第一生命新東京支部は、設立された。この第一生命新東京支部は、設立された。

技術優秀 タケヤ靴店

技術優秀 タケヤ靴店

技術優秀 タケヤ靴店

【本報東京二十日電】技術優秀のタケヤ靴店が、営業している。このタケヤ靴店は、技術優秀のタケヤ靴店で、営業している。このタケヤ靴店は、技術優秀のタケヤ靴店で、営業している。

満洲興業銀行庶務課

満洲興業銀行庶務課

満洲興業銀行庶務課

【本報東京二十日電】満洲興業銀行庶務課が、営業している。この満洲興業銀行庶務課は、営業している。この満洲興業銀行庶務課は、営業している。

金泰百貨店

金泰百貨店

金泰百貨店

【本報東京二十日電】金泰百貨店が、営業している。この金泰百貨店は、営業している。この金泰百貨店は、営業している。

金泰百貨店

金泰百貨店

金泰百貨店

【本報東京二十日電】金泰百貨店が、営業している。この金泰百貨店は、営業している。この金泰百貨店は、営業している。

